



証 人 調 書

(この調書は、第26回口頭弁論調書と一体となるものである。)

事 件 の 表 示

平成26年(行ウ)第8号

平成27年(行ウ)第1号

平成28年(行ウ)第2号

期 日

令和2年3月4日 午後1時30分

氏 名

山下俊一

年 齢

67歳(昭和27年6月27日生)

住 所

福島市光ヶ丘1番地

宣誓その他の状況

裁判長は、宣誓の趣旨を説明し、証人が偽証をした場合の罰を告げ、別紙宣誓書を読み上げさせてその誓いをさせた。

陳 述 の 要 領

速記録のとおり

以 上

チェルノブイリと福島と比較をしたというふうに記憶しています。

- 88 最後に、まとめとして確認させていただきますが、証人は原発事故後、福島県放射線健康リスク管理アドバイザーに就任され、県内各地で放射線の健康リスク等について講演を行ったわけですね。

はい。

- 89 講演で話をし、また、質疑の応答をするに当たり、証人が特に強く意識していたことはありましたか。

できるだけ不安に寄り添う、あるいは不安を増長させないということを意識しましたし、何度も申しますように、ここの地域では誰も年間10.0ミリシーベルトを超えることはないと確信してましたので、そういう意味でお話しさせていただきました。

- 90 今振り返って、御自身の発言の中で、科学的な根拠や妥当性を欠いたようなものはありますか。

いいえ、そうは思いません。

原告ら代理人（井戸）

- 91 先ほど、にこにこ、くよくよ発言について、どうしてそういう発言をしたのかという質問に対して、回答がちょっと分かりにくかったんですが、一言で言うと、ユーモアで言ったと、そういう趣旨に理解していいんですか。

緊張を解くという意味で話をしました。

- 92 こういう発言をしたら、聞いていた人たちは、当時、放射能について本当に真剣に心配していたわけですから、自分たちは、にこにこではなくて、くよくよのほうに属する、そうすると、自分たちには放射能が来るというふうに証人に強迫されている、あるいは愚弄されていると受け止めるんじゃないかとは考えられなかったですか。

不快な思いをさせた方には誠に申し訳ないというふうに思っています。

丙B第9号証（正しく怖がる放射能の話）を示す

93 これは、「正しく怖がる放射能の話」という書籍ですが、証人が監修されていますので、内容については責任を持たれるということによろしいでしょうか。

はい。

94 61 ページの一番下を見ていただくと、「1年間で100ミリシーベルトになるような場合にはどうなるか」というと、その都度できたDNAの傷はもとどおり治されていきますので、合計で100ミリシーベルトになったとしても、修復できない傷は全く残りません。」と書いてありますね。全く残りませんということは、害になるおそれは全くないと理解していいですか。

積算線量1ミリシーベルトの場合はそうであります。

95 いや、これは100ミリシーベルトですよ。

1を100回しても起こらないという意味であります。

96 先ほど、証人は、100ミリシーベルト以下の場合、発癌リスクはよく分かっているかないと答えられたのではないですか。

それは疫学的には証明されていないという意味であります。

97 ほかの方法では証明されているんですか。

遺伝子の傷を診る感度によって変わってくるというふうに思います。

98 傷が百パーセント全で修復されるのであれば、癌に発展する可能性はないですね。

はい。

99 したがって、先ほど、証人が証明されてないと言ったこととこの記載内容は、矛盾するんじゃないでしょうか。

厳格に言えば、そういう矛盾点はあると思います。

100 次に、証人は、1年間で100ミリシーベルトの被曝は癌のリスクがないという趣旨のことを言っておられますが、これは毎年100ミリシーベルトの被曝を10年、20年続けた場合、累積で1シーベルト、2シーベルトになりますが、それでも癌のリスクはないという趣旨でしょうか。

いえ、そういう意味ではありません。

101 すると、たまたま1年間だけそういう年があってもと、そういう趣旨ですか。

最高1年間で100ミリシーベルトという意味でしか使っていません。

102 したがって、その前後は被曝をしないという前提での話ですか。

基本的にはそれ以下というふうに理解しています。

103 あなたは、福島県の人たちに話をするときにそういう説明はしないで、1年間に100ミリシーベルト以下であれば健康リスクはないと説明されたのではないですか。

はい、1年目はそうであります。

104 そうすると、聞いたほうは、これは毎年100ミリシーベルトずつ被曝をしていっても安心していいんだというふうに受け止めるのではないですか。

そういうふうに受け止めたかどうかは分かりません。

105 そういう可能性は十分ありますね。

はい。

甲C第9号証(DAYS JAPAN Vol.19 No.11)を示す

106 22ページ目、これはDAYS JAPANの記事ですが、3月22日に外国人記者クラブであなたが話した内容が書かれています。お分かりになりますか。

はい。

107 それの末尾3行を見てください。「1mSvずつ100回すなわち累積として100mSv浴びるのと、一回に100mSv浴びるのでは影響は全く違います。一般の人は、まったく心配いりません。」と書いてありますね。こういう話をした御記憶はありますか。

ここに書いてありますので、多分そうかなと。

108 短期の100ミリシーベルトの被曝と、長期にわたった累積による100ミリシーベルトの被曝の健康影響の違いは、DDREF、いわゆる線量・線量